

# 「三重」発祥の地 杖衝坂

# 博物館で学ぶ HAKU GAKU

12

古事記にも載る「采女」

げたことを天皇が怒り、采女を斬り殺そうとした。ところが非礼をわびて即興で歌った

◆地元愛を感じる博物館  
四日市市の内部地区は伝説  
も多いが、文化財も豊富だ。  
古くは繩文・弥生時代の遺跡  
歌があまりにも素晴らしいからつ  
たため、天皇は罪を許し、さ  
らに彼女のふるさとの地を  
「采女」と呼ぶことを許した  
という。

が確認され、中世には采女城  
が築かれた。古代から江戸時  
代には東海道が通っていた。  
歴史ある内部のまちを地元  
の方々が熱心に調査した成果  
が博物館にあふれている。地  
元への愛も感じられる心のこ  
もった博物館だ。

四日市あすなろう鉄道が運行を開始してはや二カ月。この鉄道の内部線は、四日市の内部間を旧東海道に沿うように走っていて、東海道を探訪するのにいい。

活用した手づくりの博物館、  
うつべ町かど博物館を紹介し  
よう。

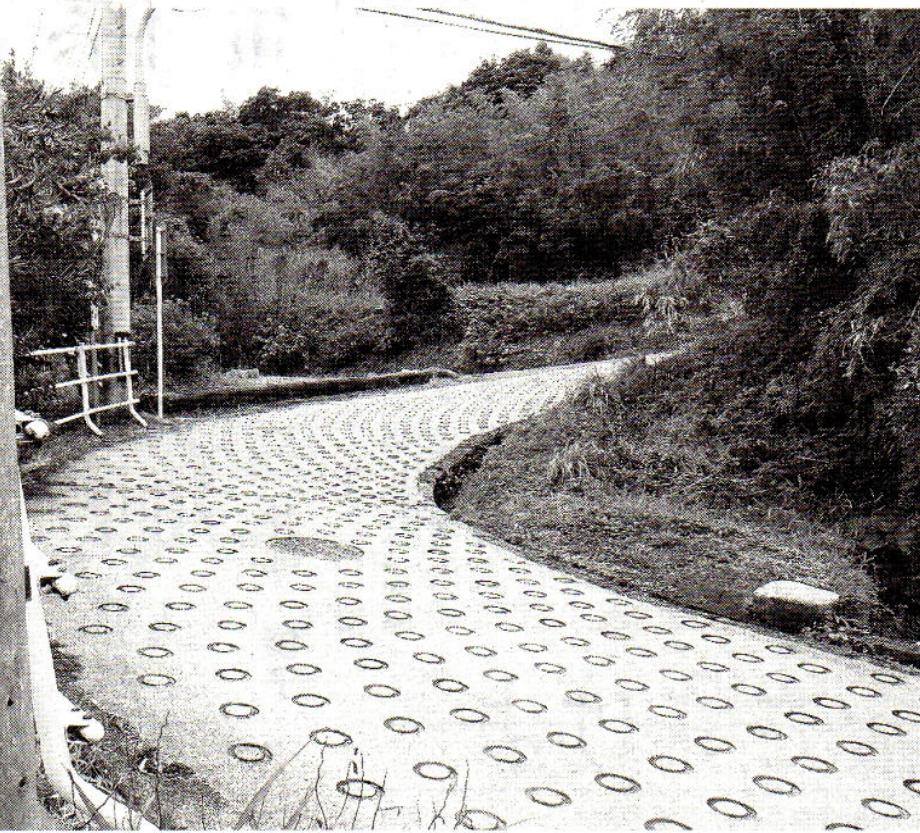
◆「わが足三重の…」  
うつべ町かど博物館は、旧  
東海道・杖衝坂の中ほどにあ  
る。古くから急坂として知ら  
れた坂だ。

古事記の伝承によると、ヤマトタケルノミコトが東国遠征から大和へ帰る途中に病に侵され、この急反差の掛か

さらにつの坂で「わが足  
みえまがいた」といふ。三重の勾りなして甚く疲れた  
り」と言った伝承から、この地を「三重」と呼ぶようにな  
ったとされる。明治後この地名が県名となつた。杖衝坂が  
「三重」の地名の発祥ともいえよう。

10. The following table shows the number of hours worked by 1000 workers.

## うつべ町かど博物館(四日市市)



〈施設案内〉	観 覧 料	無料
開 館 日 水・土・日 曜、祝日	住 所	四日市市采 女町3473
開館時間 午前9時— 午後0時	電 話	059(347)12 24